

社員選挙 立候補者名簿

受付番号	立候補届出日	氏名	所属	会員番号	年齢	立候補所信
1	9月30日	中江 大	東京都健康安全研究センター	0292	55	機会を与えて頂ければ、経験と専門性、地方衛生研究所所属という特異な立場を活かして、一般社団法人レギュラトリーサイエンス学会の活動に貢献したいと考えます。
2	10月2日	桑原 雅明	武田薬品工業株式会社 医薬開発本部	0132	56	なし
3	10月2日	中村 哲也	群馬大学医学部附属病院 臨床試験部	0592	56	レギュラトリーサイエンスの普及と発展に学会を通じて貢献して参る所存です。この分野のますますの進展が求められていると考えております。
4	10月2日	桐野 豊	徳島文理大学	0001	69	レギュラトリーサイエンスがアカデミアにしっかりと根付くために微力を尽くしたいと思います。
5	10月4日	西村 多美子	就実大学薬学部薬理学教室	0606	58	医薬品や医療機器の審査・調査をレトロスペクティブに解析し、法則性を見出すことで、アカデミアの立場からレギュラトリーサイエンスの発展に貢献したいと考えます。研究室の6年生達がレギュラトリーサイエンス学会学術大会に参加し、自らの研究テーマを発表しはじめたことから、アカデミアと行政、メーカーとの間に、橋渡しができるようになりました。今後はこの橋渡しをより強固にし、科学的にも高めていきたいと考えます。
6	10月4日	久津見 弘	神戸大学大学院医学研究科 消化器内科学	0273	55	臨床医は、RSの入り口(ニーズ)とRSの出口(ユーザー)に多く関わっていますが、まだまだ間を埋めているRSに対する理解が乏しいのが現状です。RSの認知度を上げ、臨床現場の協力を得ていくことがRSの発展を加速させる動力源の一つになると考えています。私は、20年余り臨床医をした後、2年4か月PMDAで医薬品・医療機器審査に携わりました。その経験を活かして、本学会に貢献していきたいと考えています。
7	10月5日	松村 一	東京医科大学 形成外科	0039	51	レギュラトリーサイエンス学会社員として、立候補します東京医科大学の松村です。発足間もない学会ではありますが、その存在意義は日々大きくなってきています。レギュラトリーサイエンス学会は、臨床、研究機関、産業界や規制機関等の様々な側面から検討される必要があり、近年では臨床医療の中でもその重要性が指摘されています。私は、臨床現場の一員としてレギュラトリーサイエンスの発展に貢献していく所存であります。
8	10月10日	赤座 英之	東京大学先端科学技術研究センター	0030	67	2011年7月から就任しております。ぜひ、今期も継続する所存です。よろしく願いいたします。
9	10月10日	山根 隆志	神戸大学大学院工学研究科 教授	0047	60	(独)産業技術総合研究所における人工心臓をはじめとする医療機器の技術研究開発経験と、(独)医薬品医療機器総合機構における医療機器審査経験、また神戸大学における人材教育経験を生かし、実用化をめざす医療機器の研究開発とレギュラトリーサイエンス構築をライフワークとして、学会における人材育成、産業支援に尽力したいと思います。

受付番号	立候補届出日	氏名	所属	会員番号	年齢	立候補所信
10	10月15日	野元 正弘	愛媛大学大学院医学系研究科	0516	62	レギュラトリーサイエンス学会の発展に現場(医療機関・アカデミア)の立場から貢献したいと考えております。
11	10月15日	矢野 一男	旭化成メディカル株式会社	0717	58	学問としてのレギュラトリーサイエンス(RS)の確立及びRS学会の発展に貢献いたします。そして最先端の医療や技術がタイムリーに患者に届けられ、人類の幸せに繋がることを目標に活動いたします。
12	10月18日	齋藤 充生	帝京平成大学	0036	42	これまで、行政、研究機関、アカデミアの各所でレギュラトリーサイエンスの実践を心がけてきました。社員として微力を尽くすべく立候補いたします。
13	10月21日	渡部 一人	中外製薬株式会社 安全性研究部	0604	53	より良い医薬品の開発と世界の健康増進のために、製薬業界の非臨床専門家として、学会活動を通じた産官学での共有と協働に貢献します。
14	10月21日	稲垣 治	アステラス製薬株式会社	0387	57	引き続き、レギュラトリーサイエンスの発展に貢献したいと思います。
15	10月21日	川西 徹	国立医薬品食品衛生研究所	0116	61	レギュラトリーサイエンスの一般社会へのより一層の浸透に向けて貢献できたらと考えております。
16	10月21日	田邊 思帆里	国立医薬品食品衛生研究所	0046	35	研究と行政のかけ橋となって科学を社会の中で生かせるよう、レギュラトリーサイエンス学会に貢献できればと考えております。国際的な視点からも科学と社会の調和が満たされるよう、微力ですが尽力したいと考えております。どうぞよろしくご願ひ申し上げます。
17	10月21日	齋藤 嘉朗	国立医薬品食品衛生研究所 医薬安全科学部長	0044	48	国立衛研入所時に、当時の内山副所長より、レギュラトリーサイエンスの哲学を教示いただきました。現在は、医薬品の薬物動態、副作用、民族差等に関し、ウェットとドライの両面から研究を行っておりますが、学会の方向性としてもこの両面が必要と考えております。学会誌の編集委員を拝命しており、また大会シンポジウムも2回採用いただきました。今後とも、本会の興隆に微力ながら貢献致したく、立候補させていただきました。
18	10月21日	成川 衛	北里大学大学院薬学研究科	0014	45	本学会の発展とレギュラトリーサイエンスの普及・進歩のために努力いたします。
19	10月21日	冠 和宏	ファイザー株式会社 クリニカルリサーチ統括部 北里大学大学院薬学研究科臨床医学 (医薬開発学)	0599	40	16年6ヶ月の間、小生は国内製薬企業と外資系企業で医薬品開発に従事して参りました。今般、自らレギュラトリーサイエンスの普及と発展に中心的に係わりたいという思いで、立候補した次第でございます。国際共同治験の積極活用を基盤とする医薬関連産業の活性化や、日本における早期臨床開発普及促進を目指して、何事にも是々非々をもって崇高な精神で活動して参る所存でございます。どうかよろしくご願ひいたします。

受付番号	立候補届出日	氏名	所属	会員番号	年齢	立候補所信
20	10月21日	佐久間 一郎	東京大学大学院工学系研究科	0122	53	医療機器・システム、医療用ソフトウェア等医療機器の安全性・有効性評価の考え方の整備・体系化には、学界・産業界、国際安全規格活動を含めた規制側による総合的な取り組みが必要だと考えています。大学において教育研究に従事し、安全規格活動に一部関わっている人間として、本学会の活動に貢献していきたいと考えています。
21	10月21日	戸高 浩司	九州大学病院 ARO次世代医療センター	0238	52	大学病院勤務医、循環器基礎研究者、PMDA審査官OBとして新薬・医療機器の豊富な開発経験を生かしてレギュラトリーサイエンス研究を实践、後進の指導にあたっています。九州大学TR部門のARO次世代医療センター副センター長として橋渡し拠点・臨床研究中核病院からアカデミア発シーズを実用化する道筋を整備しています。社会と調和する斬新な規制科学手法の開発等、本学会の発展に寄与する所存です。
22	10月21日	藤原 康弘	国立がん研究センター	0010	53	レギュラトリーサイエンスの発展には、科学と現実とのトレードオフを明確に判断しながら、研究を進めていくことが必要である。届出者は、研究所での分子薬理学の研究経験、医薬品医療機器審査センターでの新薬承認審査経験を背景に30年弱、がん医療の現場で腫瘍内科医として診察に従事しており、前述の判断を踏まえた研究の振興することに適任であり、本学会の社員(評議員)として相応しいと考え、ここに立候補する。
23	10月21日	橋田 充	京都大学大学院薬学研究科	0007	61	なし
24	10月22日	岡崎 義光	独立行政法人産業技術総合研究所	0048	53	医療分野は、新成長戦略の一つに挙げられており、オールジャパンでの取り組みが期待されています。また、アジア諸国を含めて超高齢化社会を迎え、インプラント等の治療機器分野の産業の発展に不可欠となる評価指標、ガイドライン等の次世代医療機器評価指標の策定等を通じたレギュラトリーサイエンスの発展、国際戦略を含めた新産業化戦略の具体案の提示等に積極的に努力したいと思っておりますので、どうか宜しくお願いします。
25	10月22日	岩崎 甫	山梨大学大学院 医学工学総合研究部 臨床研究開発学講座	0468	66	大学における新規医薬品および医療機器の治験への積極的関与、および大学発シーズの開発支援を通して、大学医学部におけるレギュラトリーサイエンスに対する理解の一層の推進を図り、本学会の発展に寄与したいと考えております。
26	10月22日	位田 隆一	同志社大学	0876	65	なし
27	10月22日	荒川 義弘	東京大学医学部附属病院 臨床研究支援センター	0045	60	我が国の治験・臨床研究の推進に貢献したいと思っております。
28	10月23日	今村 攻	東北大学病院 臨床研究推進センター 特任准教授	1121	53	現在、厚生労働省による中核臨床研究の病院の拠点に選ばれた東北大学病院臨床研究推進センターに勤務しておりますが、今後、ICH-GCPIに準拠した体制を構築することがミッションとなっております。そこで、レギュラトリーサイエンスの重要性を深く認識しておりますので、今回評議員に立候補致しました。

受付番号	立候補届出日	氏名	所属	会員番号	年齢	立候補所信
29	10月23日	松田 勉	山形大学大学院医学系研究科	0006	54	なし
30	10月24日	栄田 敏之	京都大学大学院薬学研究科	0288	53	貴学会発足年度より社員(評議員)、また運営委員を拝命いただいております。微力ではありますが、引き続き、社員(評議員)として、本邦におけるレギュラトリーサイエンスの進歩、普及に貢献したいと存じます。どうぞ宜しく御願い申し上げます。
31	10月25日	菅谷 勉	ノーベルファーマ株式会社	0958	62	あくまで個人の立場で立候補するものでありますが、日本バイオテック協議会代理の職にあり、産業人として、医薬品、医療機器、医療技術のイノベーション成果をどのように適切に評価し、いかして社会に役立てていくかが、今日的課題であります。社会科学的側面から、レギュラトリーサイエンスの実学としての深化に及ばずながら寄与できれば幸甚です。
32	10月25日	渡邊 裕司	浜松医科大学 臨床薬理学・臨床薬理内科	0378	55	再生医療や新薬開発時のiPS細胞技術の応用など、医学はさらなる飛躍をめざす転換点を迎えています。このような生命科学技術の進歩に対応したレギュラトリーサイエンスのあり方について、臨床薬理学を専門とするアカデミアの立場から貢献できれば幸いです。
33	10月25日	梅津 光生	早稲田大学先端生命医科学センター (TWIns)	1041	62	2010年に文部科学省によって我国で一番最初に許可された東京女子医科大学・早稲田大学共同大学院(共同先端生命医科学専攻)における医療レギュラトリーサイエンスの実践的教育を進めております。そして一期生12名のうち、9名の博士号を出すに至りました。そこでの経験をベースに本学会の発展に寄与してゆきたいと考えております。
34	10月25日	岩崎 清隆	早稲田大学理工学院 先進理工学研究科 共同先端生命医科学専攻	1040	40	東京女子医科大学・早稲田大学の我が国初の共同大学院において、医療レギュラトリーサイエンスの学問体系の構築と博士課程の教育、人材育成に取り組んでおります。研究面では、革新的医療機器に対応した医療機器の非臨床評価法のイノベーションに注力しております。本学会において、特に医療機器のレギュラトリーサイエンスの深化に取り組んでいく所存です。ご指導ご支援の程、宜しく御願い申し上げます。